

舟っこ流し



毎年8月16日に開催されている、盛岡市指定無形民俗文化財「舟っこ流し」。今年も明治橋上流付近で開催され、竜をかたどった華やかな舟が炎に包まれながら北上川を下ります。



書いて「舟っこ」の制作に励む
南仙北1丁目町内会亀ヶ森会長
(1列目左)と青年部の皆さん

約300年の 伝統を誇る 盛岡の送り盆行事

舟っこ流しは、先祖の霊、戦死者や災害の犠牲者の慰霊、無病息災を祈る行事として、約300年前から行われている行事。享保年間

(1716~1736年)

に南部30代藩主の行信公の七女・幕子姫が川施餓鬼(かわせがき)の法要を行ったのが始まりといわれています。

昭和61年には、この伝統を絶やさぬよう、また盛岡市の観光事業として盛り上げるため、「盛岡舟っこ流し協賛会」が結成。その第5代会長を務める佐藤修さんは、「作り手の高

行事を盛り上げる 次世代の力

齢化や担ぎ手の不足など問題もありますが、この伝統ある行事を途絶えさせるわけにはいかない。花火など観光要素も盛り上げながら若い世代にも関心を持つてもらい、引き継いでいきたい」と話します。

域一丸となって作り上げています。「まず、若い人たちに町内会の青年部に入ってもらえるよう声をかけ人数を増やしました。その青年部が町内行事はもちろん、舟っこ流しの制作にも大いに力を発揮しています」と話すのは、南仙北1丁目町内会会長の亀ヶ森さん。

他の団体で担ぎ手が不足している時には手伝うことも。協賛会の佐藤会長が願う次世代への引き継ぎは、少し



盛岡舟っこ流し協賛会 会長の佐藤修さん(左)、事務局長の鈴木一夫さん(右)

盛岡舟っこ流し 第5回写真コンテスト開催

盛岡舟っこ流しを題材として祭りを広く紹介できるものとし、応募作品は舟っこ流しポスターや観光宣伝に活用します

- サイズ/カラープリント四つ切りを原則
- 締切/9月21日(水)
- 賞/審査のうえ、金賞、銀賞、佳作を決定。
- 応募先/〒020-0863 盛岡市南仙北3-7-15 舟っこ流し協賛会 写真コンテスト係



盛岡舟っこ流し・花火大会

- 日時/8月16日(火)
- 内容/舟っこ集合…16時
法要……………16時30分~
流舟……………17時30分~
灯籠流し…………18時30分~
投げ松明…………18時30分~
花火大会…………19時~
- 会場/明治橋(盛岡市仙北1丁目)
- 問い合わせ/盛岡舟っこ流し協賛会
☎ 070 (5621) 6210

